

ひゅーまん ねつとわーく

地域に生きる

2014年7月 発行 / 第58号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



児童発達支援部 児童デイサービスセンターanでの活動の様子

上左写真	次の予定を自分でチェック!	上右写真	先生と楽しくお勉強☆
下左写真	大変良くできました!	下右写真	おやつ、いただきまーす♪

法人組織再編のお知らせ

平成26年5月25日(日)の理事・評議員会において、法人組織再編について以下の2点に関して承認されました。より充実した支援サービス提供をするために、平成26年6月1日からの再編がスタートしております。

1. 研修相談支援室と発達障害児療育支援部を統合し児童発達支援部に名称を変更。
2. 医療連携推進室を発足。

今回の機関誌では、再編された児童発達支援部 谷岡とし子部長、医療連携推進室 小林哲理室長より、各部署の機能と役割、今後の取り組みについて説明させていただきます。

発達障害児療育支援部と研修相談支援室

<組織統合のお知らせ>



大阪発達障害総合支援センター
児童発達支援部

部長 谷^{たに}岡^{おか}とし子^こ

1. はじめに

平成26年6月1日付けで、発達障害児療育支援部の「児童デイサービスセンター an」「自閉症療育センター will」「自閉症療育センター Link」と「研修相談支援室」が組織統合されました。組織統合に伴い、部の名称も変更となりましたので、この誌面をお借りしお知らせいたします。尚、今回の組織統合は発達障がいのあるお子様、ご家族、関係者等の相談や支援の継続と発達障がい児・者のより一層のサービス向上の実現を目指すものです。今後も、今まで同様のご支援及びご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 組織統合の経緯

平成24年度から障害児施設・事業が児童福祉法へ一元化され、それに伴い実施主体が市町村に移管にされました。これにより、より身近な地域で柔軟な支援が受けられる様になり、発達障害児療育支援部でも、大阪府より障がい児通所支援事業(関係機関等の人材育成や地域連携の推進)や

ペアレントトレーニング事業を受託しております。今後ますます療育ニーズは高まる見込みであり、児童発達支援センターなど様々な児童発達支援関連事業を受託して行くために児童療育支援体制をさらに強化する必要があります。一方、研修相談支援室では、大阪府や市町村への講師派遣事業に加えて中高生の個別療育を行っております。中高生の療育や支援については、「放課後等デイサービス事業所」の普及で場の確保は改善されつつありますが、「個別療育」を必要とする子ども達の支援は十分とは言えないのが現状です。「中高生の療育をして欲しい」「療育を継続したい」等の保護者ニーズもあります。当法人としても「ライフステージに応じた一貫したサービスの提供を図る」という目標を掲げており、療育対象児と成人期の狭間にある「中高生の支援」は社会的にも必要と考え、その支援モデルを「研修相談支援室」のPASSO(パッソ)事業として取り組んで参りました。この事業の実施については、経験豊かな職員の専任配置が必要となります。福祉制度を利用していないために、保

護者の皆様からの利用料だけでの運営となり、安定したサービスの提供とそれに伴う財源確保が課題でもありました。

3. 組織統合による効果

研修相談支援室を発達障害児療育支援部に組織統合することにより、組織体制の強化を図ることが可能となります。従来から深い連携関係がありますが、同一部署になることで人事管理が円滑に行える様になり、研修相談支援室の経験豊かな人材を同じ部署内で有効活用することが可能になり、日常的なスーパーバイズや協力体制を整えることができます。

現在、an・will・Linkでは年少から小学3年生までの個別療育を実施しており、未就学児や低学年児の支援については、一定のスキルも育っておりますが、「中高生の個別支援」は経験も少なく、十分とは言えません。法人の「ライフステージに応じた一貫した支援サービスの提供を図る」という目標の達成に向けても、職員の人材育成は必要不可欠であります。「研修相談支援室」との統合により、上記の課題が解決出来ることとなります。また、双方の先駆的な取り組みである中高生療育やグループ療育を、放課後等デイサービス事業を活用することで、より一層のサービス向上を図る事ができます。こ

れにより、収支改善についても一定の効果が期待されます。

4. 今後の目指すカタチ

今後は以下の取り組みを推進したいと考えています。

- ①組織体制の強化と専門療育機関としての職員の人材育成に努め、専門性の向上を図ります。
- ②幼児期から学齢児、中高生の年齢まで、対応できるサービスの形の実現を目指します。
- ③保護者の利用料負担軽減や法人の収支安定を図るため、福祉制度を利用したサービスの実現や法人職員の人材育成だけでなく社会に貢献できる研修の形を目指します。
- ④「児童発達支援センター」や「相談支援事業」など発達障がいに関連する事業を受諾できるように、児童発達支援部として一致団結し、組織体制や人材育成、業務改善の強化を図ります。
- ⑤「ライフステージに一貫したサービスの提供」を目指し、制度にないサービスでも社会的なモデルとなれるようにその実現に向けて取り組みます。

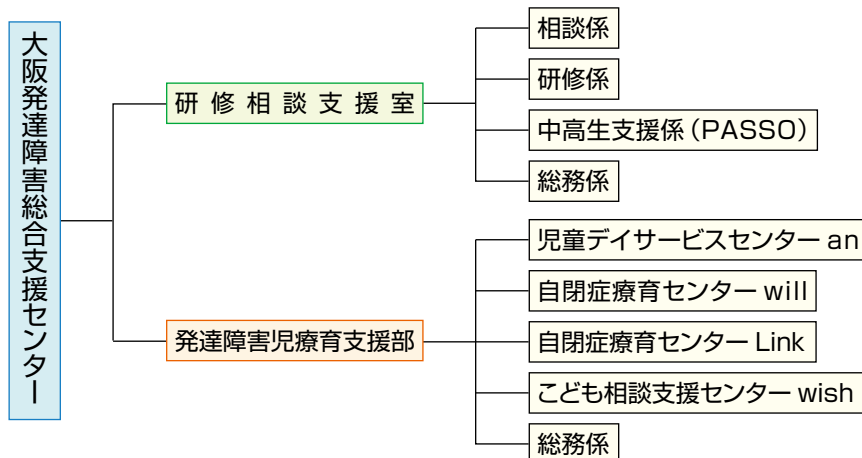
尚、組織統合については、以下の組織図をご参照ください。

所 属 「児童発達支援部」

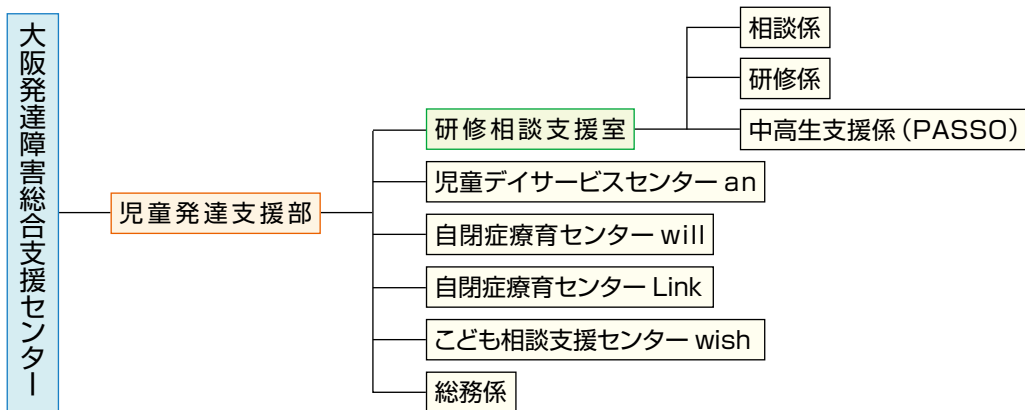
事業所 「児童デイサービスセンター an」「自閉症療育センター will」「自閉症療育センター Link」「こども相談支援センター wish」「研修相談支援室」「PASSO (パッソ)」

事 業 「発達障がい児、自閉症スペクトラム児等の療育及びその家族等の支援、人材育成、ペアレントサポート等」「講師派遣事業、発達検査、療育相談、中高生の本人支援、法人セミナー事業等」

【従来：～平成 26 年 5 月 31 日】



【統合後：平成26年6月1日～】



医療連携推進室の発足



医療連携推進室

室長・作業療法士 小林 哲 理

ご利用者の「高齢化」というとまだまだ先の話というイメージがありますが、萩の杜のご利用者の平均年齢も39歳となりました。39歳はまだまだ若いと感じるかもしれませんが、一般統計の年齢分布との比較から知的障がい者には10年程度の早期老化の傾向があることが示されています¹⁾。40代になると少しずつ体力が低下し、これまでできていた作業や活動に負担を感じるようになる人もいます(図参照)²⁾。日中も車椅子やベッドで過ごすことになったり、食事を食べたことを覚えていないなど認知機能が明らかに低下したりします。また、てんかん発作による転倒も増加します。医療的ケアが必要になる利用者もおられます。当法人のご利用者においても、全般的な体力低下や歩行困難、てんかん等による転倒、脂質異常、高血圧、糖尿病などの症状がみられ、通院の増加や入院に至るケースが出てきております。

平成24年9月、法人ご利用者の重度化・高齢化の対策を検討するため「重度・高齢化対策プロジェクト」を発足いたしました。このプロジェクトは法

人の各施設から30数人が参加し①予防プログラムの立案 ②バリアフリー ③医療連携 ④医療職の体制 ⑤入院時の体制の5つを検討課題として、平成25年度をもって最終報告を提出し終了しました。現場職員の熱い議論の末、この2年間で、i調査による職員意識や法人の環境の把握、ii重度・高齢化対策に向けた職員の意識喚起、iii重度・高齢化対策の包括的な取り組みの方向性提示、iv重度・高齢化対策啓発リーフレットや各テーマでの活用マニュアルの作成がなされました。プロジェクト最終報告では、各事業所で実行可能な取り組みもありますが、今後に向けて新たに検討が必要な課題が積み残されており、ご利用者の複合的な疾患や、重度高齢に伴う機能低下に対応していくには、医療との連携が不可欠になります。

そこで「医療連携推進室」を発足して、以下の7つを検討します。1) 近い将来のご利用者の重度化・高齢化を見据えた法人の重度・高齢化対策の全体像 2) 重度・高齢化対策マニュアル等の各施設での活用 3) 各施設・グループホームで

の保健医療の推進のための法人医療職の働き方

4) 当法人嘱託医 真野医師の巡回相談や研修
5) 医療が必要なご利用者が必要時に外部医療機関とスムーズにつながれる手立て 6) 医療的ケアについての仕組み 7) その他、法人の医療に関わる情報収集と必要な対策です。なお、この推進室は、組織上、総務部の下部組織として位置づけることで法人全体への関与を強化し、ご利用者の健康増進のため、法人の医療的な支援サービスの向上と充実を図ります。

参考文献：

- 1) 厚生労働省研究費補助金障害者対策総合研究事業 地域及び施設で生活する高齢知的・発達障害者の実態把握及びニーズ把握と支援マニュアル作成平成24年度 総括・分担研究報告書 http://www.nozomi.go.jp/publication/PDF/H24_kouroukaken_1.pdf
- 2) 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園「50歳からの支援-認知症になった知的障害者」

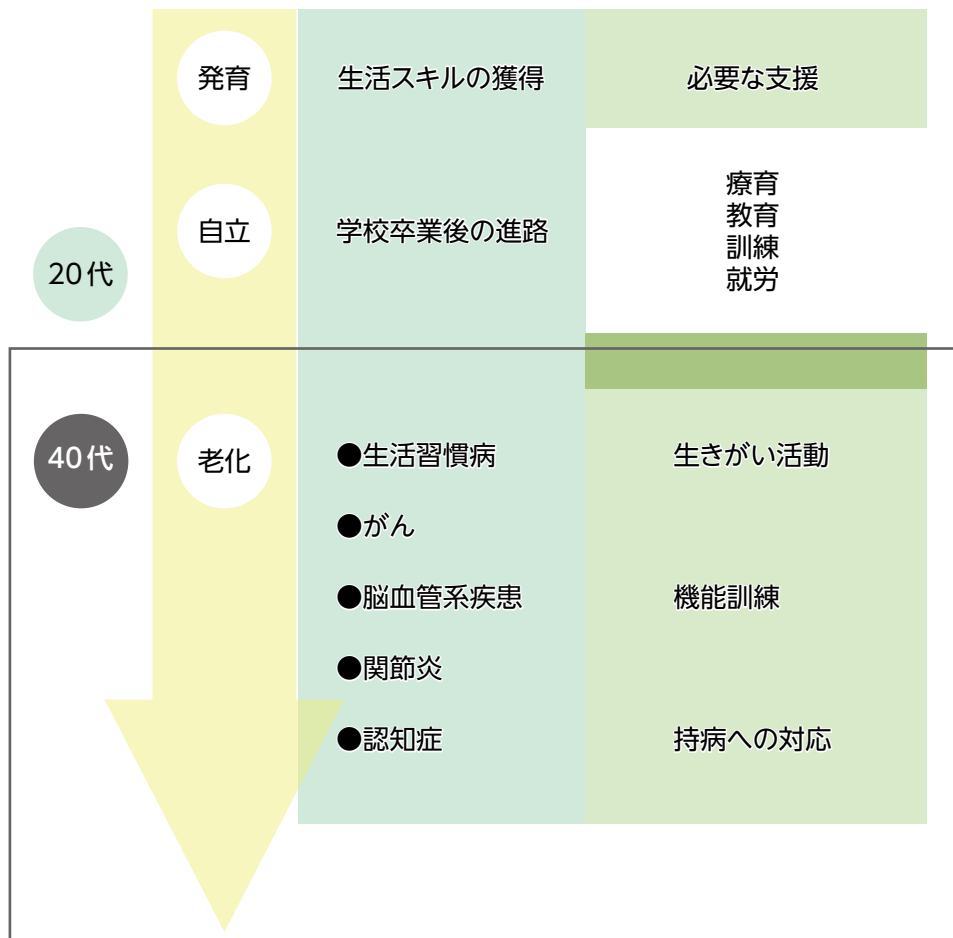
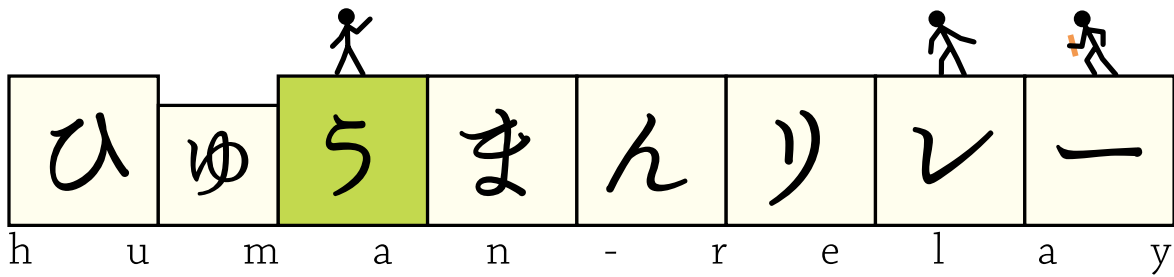


図 ライフステージと必要な支援

(独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園「50歳からの支援-認知症になった知的障害者」による)



ダイバーシティ

—誰もが居場所を持つ社会— を目指して

愛媛大学ダイバーシティ推進本部女性未来育成センター 准教授

NPO 法人シアターネットワークえひめ 理事 ぐんじしまひろみ 郡司島 宏美さんより

人が生きていくのに必要なものは？と問われたら、何と答えますか。もちろん衣食住足りることも、そのためのお金も必要です。でも幸せに生きていくためには、「居場所」が大切だと思いませんか。ただそこにいるだけの場所ではなくて、誰かにその人の個性を必要とされる、そんな居場所づくりをテーマに私は活動してきました。とくに最近、取り組んでいるのはダイバーシティ推進です。福祉の世界では「ダイバーシティ（多様性）」という言葉、どのくらい浸透しているのでしょうか。

近年、ダイバーシティ推進は企業の経営戦略の一つとして、日本経済の再生のために政府が力を入れています。その意味は、個人の持つあらゆる多様性を組織のパフォーマンス向上に活かすこと。性別、年齢、人種、職業など表面的な違いに囚われず、一人ひとりが持つパーソナリティや価値観、スキル・経験などの違いを能力と捉え、それを最大限に発揮させて組織を強くするという考え方です。たとえば、視覚障害者は視覚以外の感覚が発達します。今治市のタオルメーカーでは、優れた触感と感

性の持ち主である視覚障害者の力を借りて、肌触りがよく、使う人の感性に訴えかけるタオルを製品化しています。

人の持てる能力を活かすのは企業だけではありません。多様な人がいてこそ、先の見えないこの社会を乗り切っていくことができるのです。たとえば閉ざされた小さな空間で限られた人たちだけで過ごす宇宙飛行士のクルーを決める時、成績上位順に決めてしまつては、何が起こるかわからない状況に対応できません。構成員が多様であればあるほど危機への対応力は強くなります。

ダイバーシティは、英語では“Diversity & Inclusion”「多様性と包摂」の意味です。多様な人を認め、組織の中に居場所をつくる。あらゆる意味での多様な人を大切にする社会を実現することが今の私のミッションで、私が勤務する愛媛大学ダイバーシティ推進本部女性未来育成センターでは、次代を担う学生達に実践を通した主体的な学びの中で意識啓発を行っています。

たとえば、ダイバーシティ推進や男女共同参画

推進の活動をしている△EGG(さんかくエッグ)という学生グループの今年度の活動は、SENSE MATSUYAMA-BE SCHOOLというタイトルでアーティストやプロデューサーによるトークショーや※1ワークショップの企画運営を行うこと。「道後アートプロジェクト」(地元で芸術文化活動の中間支援をしているNPOと若手クリエイターでつくるアーツマネジメントのための※2コンソーシアム)と協働して、地域の交流拠点などを活用して取り組んでいます。

アートは人の個性がもっとも現れる表現です。創造的活動は、今年流行した映画「アナと雪の女王」の主題歌の歌詞のように「ありのままの自分」への気づきを促します。また、様々なアートに触れ、個人によって違う多様な表現を認め合うことが他者の理解につながります。とくにお芝居では、自分ではない誰かを演じることで人間やその関係性への理解が深まります。多くの人と共同で一つの作品を創ることは、その創作過程そのものが人間や社

会の多様性を考える現場となります。またライブパフォーマンスでは、伝える相手である観客との間でひとつの「場」が共有され、人と人がつながることができます。優れたアートには固定観念を覆すような「気づき」があり、性差・年齢・職業などの違いを超えて人と人をつなげる力があるんです。

地域のアート交流拠点に行けば、様々なアーティスト達の考えに触れられ、時間と場所を共有でき、そんな「誰かが誰かを認め合っている場所」が地域にいくつもできて、ゆるやかにつながっていけば、あらゆる人に居場所があるダイバーシティな世の中に一歩近づくのではと願って、活動をしています。

※1ワークショップ

参加者が自発的に作業や発言をおこなえる環境が整った場において、司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される講座。

※2コンソーシアム

2つ以上の構成要素から成る団体であり、共同で何らかの目的に沿った活動を行ったり、共通の目標に向かって資源を活用する目的で結成される。



SENSE MATSUYAMA-BE SCHOOL 第1回トークショー
「愛媛から発信するクリエイティブ・ブランド力」講師:大藪崇さん

地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～

医療法人 豊済会 サポートセンターる～ぶ
地域活動支援センター事業（I型）

施設長 ^{むら}村 ^{やま}山 ^{さち}幸 ^こ子 さんより

「サポートセンターる～ぶ」では、『一緒にみつけよう!元気・仲間・次のステップ』を大切に、豊中市内で地域生活を営む障がい者を中心に身近な相談窓口として事業を展開しています。主な支援内容は以下の3事業です。

①地域活動支援センター事業（I型:相談支援型）

主に、生活上の様々な相談や情報提供・フリースペース、プログラムの運営・当事者活動の育成や支援を行っています。

②指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業

③指定一般相談支援事業

②③に関しては、障がい福祉サービス利用にあたり計画を作成したり、精神科病院等に長期入院している障がい者を地域に移行する支援を行っています。

「サポートセンターる～ぶ」にて、日々様々な相談を受ける中で、ここ数年「発達障がい」に関する相談が増え、どの様な支援が地域の相談支援窓口としてできるのか…とスタッフ間で検討していました。

その様な状況の中で、平成25年度「大阪府成人期発達障がい者地域支援体制サポート事業」の話を「アクトおおさか」より頂き、昨年、「発達障がい」に関して改めて学ぶ機会を得ることができました。地域の相談窓口として、良いタイミングで学ぶ機会が得られ、相談の幅を広げることができました。

地域の様々な機関や人と“つながる”ことは、地域の相談支援窓口として重要で、日々の相談支援のベースになることを再認識しました。

今後も「サポートセンターる～ぶ」は、地域の様々な機関や人と“つながり”、地域の身近な相談窓口としての役割を果たしていきたいと思っています。



「萩の杜 出張理容について」

今回の地域における包括的な支援体制作りについてのコーナーは、萩の杜で出張理容をしていただいている、徳田 啓さんにQ & A形式でインタビューを行っています。

Q. 理容師になろうと思ったきっかけは？

A. 私は昔から体が弱く、いろいろな病気にかかったため、幼少期のほとんどを病院の閉鎖病棟で育ちました。病気を繰り返したために学校にも行けず、社会になじむことができませんでした。そんな中、社会で役に立つ仕事はないかと考えていたら、理容師の仕事にたどり着いたものの、病気のため、ほとんど学校に行けなかったので、文字すら読めない状況でした。



出張理容道具

そこから辞書を片手に必死に勉強してなんとか理容師になることができました。

Q. 障がい者の理容に関わるようになったきっかけは？

A. 自分も社会になじめなかった経験から、病院や障がいのある人がいる場所にいるとホッとします。そうした思いもあって、こうした人たちの役に立てることや自分も社会と関わっていきたいという思いから、萩の杜や病院に出張理容をするようになりました。

病気ばかりだった自分もなんとか社会の中でやってきているので、障がいのある人でも

社会の中で暮らして行けるように応援したいと思っています。

Q. 萩の杜の印象や、初めて来たときから今までの変化で感じることは？

A. 萩の杜で出張理容を始めて、約14年。初めて来たときは立派な施設だと思ったし玄関を入れてすぐのところに掲げてある「地域に生きる」の理念を見て、自分自身が地域社会と関わりながら生きていくことを大事にしていたので、「自分自身の価値観と合う」と思ったことを覚えています。

毎月の散髪を続けていく中で、昔は大声を上げて嫌がっていたご利用者がいつのまにか、ちゃんと散髪できるようになったのを見ると、自分自身も成長した感じがしてうれしいです。



落ち着いて散髪できています

Q. 散髪するなかで大切にしていることは？

A. 流行も意識しながら、その人、その人の個性を大事にしたいと思っています。

Q. 今後の夢ややりたいことは？

A. もう少し時間があれば、ご利用者さんと一緒に遊べる枠が欲しい、何かをして遊びたい。そうすることで、もっとご利用者の成長もあると思うし自分も成長できると思っています。

Q. 最後にメッセージを

A. 最近、福祉の仕事をしている若い男性と話す機会がありましたが、みんな気は優しいが自分の体を鍛えていないよう感じました。自分の体を鍛えて元気でなければ、ご利用者を受け止めることができないと思っています。萩の杜での出張理容に関しては、今後も一人でも散髪に来てほしいと思ってもらえるなら、続けていきたいと思っています。

感謝の気持ちとして 徳田 啓 さま

萩の杜の「散髪のおいちゃん」として、いつもお世話になっております。今回はインタビューを引き受けていただきありがとうございました。

「散髪のおいちゃん」のおかげで、なかなかじっとしていることができないご利用者もスムーズに散髪できています。ご本人の動きに合わせて上手に髪を切ってくれたり、ときにはおっと思わせるようなトレンドイな髪型にしてくれたり、本当に感謝の気持ちで一杯です。

私自身も徳田さんと、散髪の見守りをしながら色々な話をさせていただきましたが、改めて徳田さんの想いを伺い、自分自身の経験の中で学んだこと、育ててきた想いを胸に、積極的に社会に関わっていくことの重要さを感じました。

これからも萩の杜の「散髪のおいちゃん」として、ご利用者の良きスタイリストになっていただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

萩の杜 副施設長 山根 和史



とくだけい
✂ 徳田啓さんの理髪店 ✂

「一風かわった床屋 啓」

枚方市牧野阪2丁目2-18 TEL (072) 855-6478



業務改善と人材育成の取り組み



自閉症療育センター will

支援員・保育士 小谷 翔

自閉症療育センター willでは、3歳から小学3年生までの自閉症スペクトラム（発達障がい）のお子様を対象に、個別療育を行っています。個々によって、得意・苦手さが異なるお子様たちなので、個人に合わせた環境設定や、毎回の療育の中で教材や行動について細かい評価を行い、より良い支援に繋げています。1日の間に来られるお子様の数は、最大9名。こう聞くと、決して多い人数には思えないかもしれませんが、しかし、誰一人として同じ人がいない事と同様に、一人ひとりに異なった環境や課題の設定が必要です。

しかし当然、個別に行うということはそれだけの準備が必要になります。集中して課題に取り組むための部屋のレイアウトの変更、余暇に使う玩具や道具の準備、個人の興味に合わせた教材の作成、そして療育後の評価、次回の指導計画の立案と片づけ。こうした業務をこなすには、最大9名は決して少ない数ではなく、スタッフの負担軽減と作業効率の改善の必要性を感じていました。そこでスタッフ間で話し合いを重ね、いかにして作業効率を上げていき、かつサービスの質も恒久的に高めていくかを検討し、「量」と「質」を同時に向上させる取り組みを考えました。その方法をご紹介します。

1. 作業効率の向上、業務内容の改善

療育の準備と片づけに時間を取られることが多いというスタッフの意見から、資材や道具を保管している教材庫の整理・構造化を行いました。改善内容は以下の4点です。

①スタッフの動線を第一に考えた配置

狭い空間に大勢のスタッフが動き回り、身動きの取りづらかった場所を広げ、作業スペースを確保、動線を予測した配置に変更。

②教材1つひとつにラベリング

カゴに入れた状態で収納している教材には、それぞれ教材内容を明記したラベルを貼り付け、取り出して確認する手間を省いた。

③同じようなものはひとまとめに置く

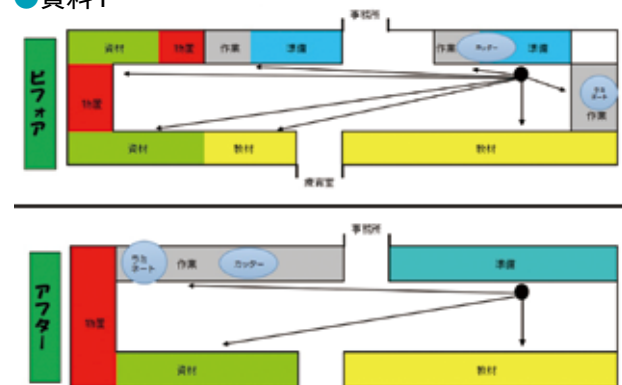
療育に使用するトレイや道具、課題用の資材には大きさや形が似たものが多くあり、これらをひとまとめに置く（グルーピングする）ことで、資材の過不足を把握しやすくした。

④使ったものは必ず同じ場所に戻すよう、スタッフ間での共通理解を深める

最も重要なポイント。「思わず置きっぱなしにする」「忙しいから適当に戻す」ことで次に使う人がそれを探し回る、という悪循環に陥らないため、スタッフ間でルールを決めた。

少し意識を変えれば、自然と作業効率は上がる。単純ですが、継続すれば大きな意味のある取り組みとなります。これらの取り組みを徹底することによ

●資料1



り、教材作成等に要する作業時間を大幅に短縮することが出来ました。もちろん、整理し構造化すること自体が大掛かりな作業でしたが、それだけの価値があったものと感じています。(資料1・2)

●資料2



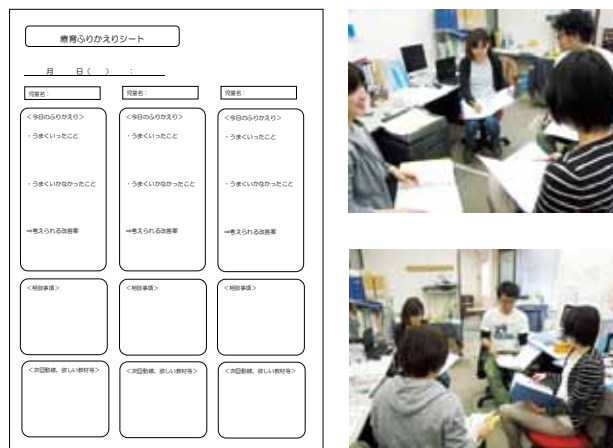
これにより、作業の「量」は改善しました。同時に取り組んだのが「質」の向上です。

2. サービスの質の向上、人材育成

スタッフ全員の療育に対する知識と技術が、より向上していくことを目指し考えたのが、「振り返りミーティング」です。療育は、1家族(子どもと親)に対し1人のスタッフが付く、マンツーマンの体制です。そのため、評価や指導案の立案は個人の作業が多くなるので、情報共有の時間が現実的になかなか持てませんでした。そこで物理的に共有時間を作ったのがこのミーティングです。療育が1クール終了したら10分程度、議題用紙に沿った形で振り返りをします。設定課題の意図や、療育室を構造化する際の工夫方法、保護者様が療育の理解を深められるような対応の仕方など、うまくいった点・思う結果が得られなかった点、それらの原因と対策を話し合う

ことで、新たな評価の視点を持てるようになり、次の療育に活かしていけることが増えました。時間のない中、あえて時間を作って情報共有をすることで、結果的にスタッフの知識と技術が向上していることを実感しています。(資料3)

●資料3 ふりかえりミーティング①



またこのミーティングを行う際は、アラームで時間を知らせるようにしました。評価しづらく、不明確な部分をミーティングで相談できるので、時間を意識し、有効な使い方が出来るようになったことも、質改善の大きな要因になっています。(資料4)

以上が、今回 willで行った業務改善と人材育成についての取り組みです。結果として、残業時間が減少し、療育技術の向上が見られた点も多くありました。今後もこれらを継続させ、さらなる質の向上を目指していくことが課題であると思っています。より良いサービス提供と職場環境づくりのため、これからもスタッフ一同、力を合わせていきたいと思っています。

●資料4 時間の構造化 (タイムスケジュール+アラーム)

おさ	ひる	あさ
8:45 療育準備	12:00 ランチタイム	16:00 評価・次週指導案作成
9:00 療育	13:00 療育	16:15 ミーティング
9:05 療育準備	14:00 評価・次週指導案作成	16:30 課題作成
10:00 療育	14:40 ミーティング	17:10 セラジ
11:00 評価・次週指導案作成	15:00 療育	17:25 療育
11:45 ミーティング	16:00 療育終了	17:30 退勤

療育終了後のフォロー ～Link 実践交流会の取り組み～



自閉症療育センターLink 主任
臨床発達心理士・保育士 水口 真奈

【はじめに】

自閉症療育センター Link は、自閉症やアスペルガー症候群等の発達障がいのある児童およびその保護者を対象に、発達障がい児の個別専門療育と保護者に対する研修を行っています。保護者研修会は、毎月1回実施し、自閉症スペクトラムの特性や支援について学びます。保護者が、我が子の障がい特性を正しく理解し、特性に配慮した支援をご家庭でも行っていくために、保護者研修は療育と並行して、必要不可欠なものになっています。しかしながら、市町村委託の単年度事業のため、Link の利用は1年間と限られています。そのため、療育終了後に不安を抱く保護者も多く、継続して我が子への理解や家庭における支援について学びたいというご要望を毎年多くいただいております。そのような保護者のニーズをもとに、療育終了後のフォローとして、Link が取り組んできた「実践交流会」についてご紹介したいと思います。

【実践交流会の取り組み】

対象：Link の1年間の療育と保護者研修を終了された保護者

目的：①少人数グループで、講習と簡単なワークや実習を通して、保護者同士が交流しながら学ぶ。

②子どもへの理解や関わり方を見つめなおす機会とする。

内容：既存の研修内容にとらわれず、現在の保護者のニーズに即したものにします。

ワークや体験を通して学んだり、少人数だからこそ実施可能な内容にする。

テーマ：(一部抜粋)

『作業療法士から学ぼう!手先の不器用さ、からだのぎこちなさ』

『我が子を褒めよう』

～褒め日記を通して～

『問題行動を考えよう』

～VTR「Link 劇的 Before After」～

『安定した成人期を迎えるために』

【取り組みの成果】

①保護者の変化

保護者研修より実践的な内容であり、体感して学ぶことで、保護者の我が子への理解が深まった。少人数なので、保護者のニーズにその場で応えられるなど臨機応変に会を進められ、保護者同士気軽に意見交換もできたことが良かったようである。また、その中で他の保護者の気付きを皆で共有でき、それが我が子の理解を深めることにもなった。そして、自分ひとりじゃない、皆も頑張っているのだということに改めて気付くことで、家庭での支援の取り組みに対するモチベーションアップにもつながった。自閉症スペクトラムの子どもの育児は、毎日対応に困ることも多く、不安な気持ちを抱えておられる方も多い。Link が終了した後も、困ったことについて考える場所があることが、保護者の育児ストレスのケアにもつながったのだと思われる。

②職員の人材育成とモチベーションアップ

新規職員が、通常の保護者研修での講義を経験する前に、まずは少人数の顔見知りの保護者に対して、実践交流会でのミニ講義やワークの司会進行を担当することで、段階的に経験を積めたため自信になった。また、Linkの職員が保護者のニーズに即した研修を、職員同士でアイデアを出し合い検討しながら、1から作り上げて実施できたこと、職員の「こんなやってみたいな」というアイデアを形にできる機会を提供できたことも、職員のスキルやモチベーションアップにつながった。

③新たな研修内容の試行・提案

実践交流会で、モデル的に実施したテーマや内容で評判が良かったり、有効だったものは、改良を重ねて継続して実施したり、保護者研修の中にも部分的に取り入れることができた。また、当法人の他の療育センターにも情報提供や提案をすることができた。

【今後の展望】

- ①実践交流会の継続
- ②保護者のニーズに即した、実践交流会のテーマの検討
- ③療育終了後のフォローの充実

保護者のニーズに更に応えていくために、実践交流会を今後も継続していくことが求められる。平成26年度の交流会についても、新しい研修テーマを企画しているが、それは昨年度の療育で保護者と話しをする中でニーズとして挙がっていたものである。一度療育期間が終わったら、それきりではなく、継続して支援を続けていけるよう、保護者の学べる場や、日常のストレスを少しでも発散できる場の提供をし続けていくことが、今後私たちが取り組んでいかなければならないことであると考えている。



実践交流会の様子

サッカーを通じた事業所間の横断的な 取り組みについて



高槻地域生活総合支援センターおれいすBe 施設長
社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士 下

ひろ ゆき
裕 幸

平成24年度より、健康とリハビリテーションを専門とする大阪保健医療大学と大阪リハビリテーション専門学校、サッカーの専門機関であるセレッソ大阪とセレッソ大阪スポーツクラブ、そして障害者福祉サービス事業所との共催で、知的障がい者サッカーの普及や健康と体力の維持・増進、社会参加の拡大などを目的に「知的障がい者サッカー振興事業」がおこなわれています。事業の内容としてはフレンドリーアクションフェスティバル(サッカー大会)の開催ならびにフェスティバルに向けてのサッカースクールが開催されており、当法人も平成24年度から2年連続で参加させていただきました。

「知的障がい者サッカー振興事業」に参加した背景には、法人全体としてご利用者の高齢化とそれに伴う障害の重度化対策として各事業所で運動プログラムの必要性が高まっていたことがありました。一方で運動プログラムをご利用者に楽しんで取り組んでいただく難しさや、各事業所単位でプログラムがおこなわれているため広がりがないことなど、

これら課題を解決していくため、また余暇プログラムの充実という面からもこの事業に参加することとしました(参加事業所:ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、おれいすBe、ケアホームと

んだ)。

この事業を通じて、新たな運動プログラムの開発として、事業所間で1~2か月に1回の頻度で合同練習をおこない、サッカー大会本番に向けて調整をしました。またサッカースクールではセレッソ大阪スポーツクラブのコーチに直接指導を受けることができ、普段では得難い経験をしました。本番のサッカー大会があることでこれら練習に対してもご利用者の意欲は高く、普段関わることのない他事業所のご利用者と接する機会ができたなど、楽しんで参加している様子が見受けられました。

サッカー大会本番では平成24年度はJ-GREEN堺、平成25年度は長居第2陸上競技場での開催となり、本格的な雰囲気の中、他法人のチームとミ



ゴール目指して頑張るぞ



選手宣誓



円陣組んでファイト



ナイスシュート

ニゲームをおこないました。シュートを決めて喜ぶ姿や声を掛け合う様子、負けて悔しがめる姿など普段はなかなか目にしない様子もたくさん見られ、サッカーは無理かと思われて

いた障がいの重いご利用者がゴールを決める場面もあり、ご利用者の可能性を知ると同時に支援者がその可能性を狭めていたのではないかとの気付きにもなりました。大学や専門学校の学生からのサポートもあり、交流を楽しんでいる姿も印象的で「面白かった」「また来年も参加したい」と前向きな意見が多数聞かれました。

今年度は11月にサッカー大会が開催される予定となっており、現在参加希望者を募り合同練習なら

びにサッカースクールを実施しているところです。今年度は萩の杜のご利用者も参加する予定になっており、またジョブサイトよどでおこなっている選択プログラムにサッカーを新たに取り入れ、これまで参加できなかったご利用者も参加していくことになっています。少しずつ規模や横のつながりも広げながら、長期的に継続できる活動として引き続き取り組んでいきたいと思います。



法人グッズで応援もバッチリ



記念撮影

北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成26年3月～平成26年5月)

北摂杉の子会のホームページ(<http://www.suginokokai.com>)では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。

ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。

ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください!

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	an 新聞・will 新聞・Link 新聞掲載
松上利男の一言	第63回 障害のある人たちのディーセント・ワークとは? ～池田太郎先生の実践を通して考える～
お知らせ	ジョブジョイントおおさか「2014年上半期 見学会・ご利用についてのご案内」掲載
	日本知的障害者福祉協会機関誌「さぽーと」2014年3月に当法人常務理事・松上利男 原稿執筆
	常務理事松上利男が委員を務めた平成25年度 独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業「B型事業所におけるディーセント・ワーク研修」の「ワークブック/チェックリスト」完成
	保護者のための思春期連続講座のお知らせ
	保護者のための自己理解支援講座のお知らせ
	発達障害のある大学生向けサービス『en+jointクラブ』のご案内
	高槻Jazz Street 2014にて、ぷれいす Beのガレットとジョブサイトよどのコロッケを販売
イベント・講座案内	大阪府気づき支援人材育成事業 保育士・幼稚園教諭合同講座、幼稚園教諭研修
	大阪府気づき支援人材育成事業 幼稚園教諭研修
	平成26年度 自己理解支援講座 高機能自閉症・アスペルガー症候群のお子さんをお持ちの保護者の方対象
	平成26年度 発達障がいのお子さんの保護者のための思春期連続講座
	第1回 北摂杉の子会研修セミナーのお知らせ
よどのコロッケ	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新

おわびと訂正

前号(機関誌57号)31ページ「後援会入会と会費納入」「家族会へのご寄付に感謝いたします」にて右記の様な誤りがございました。

ここにお詫びして訂正申し上げます。

関係者各位には多大なるご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

正	誤
日本キリスト教団 春日丘教会	日本キリスト教 春日丘教会
植松正機	植松正樹
植松芳哲	植松房哲

掲示板コーナー

(平成26年3月から平成26年5月まで)

法人本部総務部掲示板

3月	行	事
4日	臨時経営会議	
5日	内定者対象施設見学会	
5・19日	自閉症啓発デー会議（法人本部会議室）	
8・14日	法人採用説明会（高槻商工会議所）	
10・12・13日	採用応募者対象施設見学会（ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか / 萩の杜・レジデンスなさはら・ぶれいすBe / 自閉症療育センターwill）	
10・28日	経営会議	
14日	運営会議	
16日	北摂杉の子会 OB・OG同窓会（高槻市役所 展望レストラン 桃莉）	
26日	総務会議	
30日	第91回理事会・第52回評議員会（高槻市立生涯学習センター研修室）	第1号議案 ジョブサイトひむろ就労支援事業廃止の件 第2号議案 ジョブジョイントおおさか たかつきランチ定員変更の件 第3号議案 諸規則、規程類の改正の件 第4号議案 施設長・部長人事の件 第5号議案 平成26年度 社会福祉法人北摂杉の子会 事業計画（案）の件 第6号議案 平成26年度 社会福祉法人北摂杉の子会 予算（案）の件

4月	行	事
2日	自閉症啓発デー講演会（高槻市立生涯学習センター多目的ホール） 「自閉症の人と共にあゆむ」～たかつきで私たちができること～ 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか センター長 堀内 桂	
7日	経営会議	
9・25日	運営会議	
10日	平成26年度 採用一次面接（法人本部会議室）	
19日	平成26年度 第1回法人研修（高槻現代劇場 305号室）	・平成26年度理事長方針の発表 ・各事業所の事業方針の発表 ・資格取得表彰 ・業務貢献表彰及び内容発表
23・25日	平成26年度 採用二次面接（法人本部会議室）	
25日	虐待防止委員会	

5月	行	事
7日	大学内採用説明会（関西学院大学）	
12日	経営会議	
13・30日	運営会議	
14日	法人後援会役員会（法人本部会議室）	・2013年度の報告 ・2013年度の収支と会計監査報告 ・2014年度の計画 その他
16日	自閉症啓発デー会議（法人本部会議室）	
17日	法人採用説明会（高槻商工会議所）	
26・27日	採用応募者対象施設見学会（ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか / 萩の杜・レジデンスなさはら・ぶれいすBe）	

(河辺 記)



OB・OG同窓会



法人採用説明会

萩の杜 掲示板



シエンタ

赤い羽根共同募金助成をいただき、新しい公用車「シエンタ」を購入しました。ご利用者も喜ばれています。それに伴い、13年間で走行距離195000キロ（だいたい地球を5周分です）、長い間活躍してくれた「リバティ」は廃車になりました。長い間お疲れ様でした。



リバティ
(福祉相撲号)

4月より、新しく2名の新入職員が萩の杜に配属されました。まだまだ、不慣れな部分もありますが、一生懸命ご利用者支援に当たっています。



高木萌美です。
笑顔を忘れず、ご利用者の方も笑顔になれるような支援に努めます。

瀬川直樹です。
趣味はバレーです。毎日を精一杯頑張ります。



(山根 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

(3~5月のレクリエーション・行事)

3~5月の外出時や作業風景の写真を掲載しています。
今期は各グループのレクリエーションに加え、祝日を利用した季節感あふれるイベントも開催され、ひむろのご利用者の方々も多数参加されました。

◆ 就労レクリエーション ◆

3月20日 ラウンド1



✳ 療育レクリエーション ✳

4月3日 桜堤公園



◇ そうぞう3レクリエーション ◇

5月7日 勝竜寺・城跡公園



◎ 陶芸レクリエーション ◎

5月20日 咲くやこの花館



新しい受注で
箱折り作業をしています。



(湯岡 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

3月	行	事
6日	講師派遣	箕面市：こども発達支援センター青空（そら）
8日	コーディネーター派遣事業	門真：サンタ・ランド 第3回
9日	FVP	交流会
10日	講師派遣	摂南大学教職員研修
11日	講師派遣	信太学園職員研修
12日	講師派遣	人権協会「人権相談フォーラム」
13日	大阪府体制整備委員会	
15日	アクトおおさか	“グループミーティング” 第6回
19日	コーディネーター派遣事業	東大阪：ふう 第3回
20日	コーディネーター派遣事業	大東：ハートフル大東 第3回
23日	講師派遣	大阪精神科診療所協会 学術研究会
31日	相談支援従事者	現場会議

4月	行	事
2日	自閉症啓発デー	
11日	大阪府地域生活支援課発達障がい児者支援グループ担当者来所	新年度事業の打合せ
16日	大阪府家庭支援課担当者来所	ひとり親家庭の支援に対する講師依頼
21日	大阪府家庭教育支援チーム来所	コーディネーター派遣事業について聞き取り
30日	大阪府地域生活支援課来所	今年度事業について打合せ

5月	行	事
12日	畿央大学へ	ペアレント・トレーニングの講師依頼
22日	大阪府立精神医療センターへ	基礎講座の講師依頼
26日	アクトおおさか	家族学習会 1回目

(堀内 記)



「自閉症啓発デー」の大阪城

研修相談支援室・PASSO 掲示板

3月	行	事
7日	摂津市特別支援教育研修	巡回指導実践報告会 (30名参加)
4月	行	事
1日～	平成26年度本人支援コース	9名継続 5名新規決定 (14名)
9日～	平成26年度個別評価コース	14名 決定
5月	行	事
2日	淀川区自立支援協議会相談支援部会	参加
9日	泉大津市巡回相談 (小学校)	
12日	思春期講座①	(12名参加)
16日	高槻市特別支援教育 自閉症連続基礎講座①	(120名参加)
	和泉市巡回コンサルテーション (中学校)	
19日	和泉市巡回コンサルテーション (幼稚園)	
23日	摂津市巡回相談 (小学校)	
	オアシス実践報告会スーパーバイズ	
	高槻市特別支援教育 自閉症連続基礎講座②	(120名参加)
26日	摂津市特別支援教育研修	連続講座① (40名参加)
29日	和泉市教育センター	教職員研修 (80名)
30日	大阪府気づき支援人材育成事業	保育士・幼稚園教諭 合同講座 (165名)

(大澤 記)

発達障がい児療育支援部掲示板

○児童デイサービスセンター an

3月	行	事
3日～	新入児発達検査	(随時)
14日	保護者研修実践	(最終回)

4月	行	事
1～	発達検査	
18日	療育開始	
14日	療育開始	
19日	法人研修	
22日	保護者研修実践	(第1回)

5月	行	事
9日	保護者研修実践交流会	(第1回)
20日	保護者研修入門A	(第1回)
23日	保護者研修入門B	(第1回)

○自閉症療育センター will

3月	行	事
7日	保護者研修A	(最終回)
14日	保護者研修B	(最終回)
26日	平成25年度療育修了	
31日	平成26年度療育児決定者説明会	

4月	行	事
1～	発達検査	
25日	発達検査	
2日	世界自閉症啓発デー	
19日	法人研修	

5月	行	事
1日	療育開始	
9日	保護者研修A	(第1回)
16日	保護者研修B	(第1回)
23日	保護者研修実践	(第1回)

○自閉症療育センター Link

3月	行	事
7日	保護者研修B	(最終回)
14日	保護者研修A	(最終回)

4月	行	事
1～	発達検査	
28日	発達検査	
11日	利用決定者説明会	
19日	法人研修	

5月	行	事
1日	療育開始	
12日	実践交流会	(第1回)
23日	保護者研修入門A	(第1回)
30日	保護者研修入門B	(第1回)

(谷岡 記)

ジョブサイトよど掲示板

3月	行	事
7日	十三中学校	コロッケ外販・桜宮保育園予約販売
11日	余暇プログラム	エアロビクス
13日	歯科検診・ミディマルシェ	コロッケ外販
18日	土曜レク・カフェBe	コロッケ外販・淀川予約販売
21日	西栄寺	コロッケ外販
25日	余暇プログラム	エアロビクス
27日	ユニバーサル	コロッケ外販
28日	指導センター	コロッケ外販
31日	豊中市施設	予約販売

4月	行	事
8日	余暇プログラム	エアロビクス
10日	健志整骨院前	コロッケ外販
17日	ミディマルシェ	コロッケ外販
18日	十三中学校	コロッケ外販
22日	余暇プログラム	エアロビクス
23日	御堂筋ふれあいバザール	コロッケ外販
24日	健志整骨院前	コロッケ外販
25日	指導センター	コロッケ外販
28日	淀川区施設	予約販売
30日	豊中市施設	予約販売

5月	行	事
2日	十三中学校	コロッケ外販
3~4日	高槻ジャズストリート	コロッケ外販
8日	健志整骨院前・マルシェ	コロッケ外販
12日	余暇プログラム	ウォーキング
13日	十三市	コロッケ外販
16日	十三中学校	コロッケ外販
17日	うつぼ公園バラ祭	コロッケ外販
18日	高井田苑祭・うつぼ公園バラ祭	コロッケ外販
19日	余暇プログラム	ウォーキング
20日	余暇プログラム	エアロビクス
22日	健志整骨院前	コロッケ外販
23日	指導センター	コロッケ外販
24日	西淀川ふれあい広場	コロッケ外販・店舗開店
25日	淀川ふれあいフェスタ	コロッケ外販
26日	平野区施設	予約販売
28日	淀川区施設	予約販売
29日	豊中市施設	予約販売

(田端 記)

ふれいすBe 掲示板

3月	行	事
9日	カトリック高槻教会にて	ガレットの販売
10日	新規利用者5名の	通所開始
15日	土曜開所日	

見学：3件9名

4月	行	事
1日	新規利用者1名の	通所開始
2日	世界自閉症啓発デー（高槻市）にて	ガレットの販売
7日	新規利用者1名の	通所開始
12日	土曜開所日	
13日	カトリック高槻教会にて	ガレットの販売
25日	高槻市障がい福祉課より	サービス等利用計画の説明を受ける（就B対象）

見学：2件9名

5月	行	事
3~4日	高槻ジャズストリートにて	ガレットの販売
10日	土曜開所日	
11日	カトリック高槻教会にて	ガレットの販売
31日	土曜開所日	

見学：1件2名
(下 記)



映画鑑賞



山田池公園



Be級グルメ



伊丹スカイパーク



体力測定



バラ園



梅小路公園



万博公園

ジョブジョイントおおさか-たかつきランチ-掲示板

3月	行	事
3日	事業所見学会 (ジョブジョイントおおさか)	
10日	避難訓練 (ジョブジョイントおおさか)	
13日	歯科検診 (ジョブジョイントおおさか)	
15日	土曜開所日 (土曜クラブ) / JJ OBの会	
17日	事業所見学会 (たかつきランチ)	
4月	行	事
14日	事業所見学会 (ジョブジョイントおおさか)	
12~25日	第4四半期実施報告・第1四半期個別支援計画懇談	
28日	事業所見学会 (たかつきランチ)	
5月	行	事
10日	土曜開所日 (通常プログラム) en+jointクラブ説明会 (発達障害学生向けサービス)	
12日	事業所見学会 (ジョブジョイントおおさか)	
13日	淀川区合同事業所説明会	
24日	JJ OBの会 / 家族ミーティング	
26日	事業所見学会 (たかつきランチ)	
31日	en+jointクラブ 第1回目 (発達障害学生向けサービス)	

(山田 記)

JJ OBの会 (平成25年度の振り返り平成26年度の目標の発表)



萩の杜家族会掲示板

3月	行	事
2日	新旧役員会	
	定例会	<ul style="list-style-type: none"> • 施設からの報告（人事、安全対策委員会の結果等） • 木戸副施設長離任の挨拶 • 平成26年度役員候補について • 各グループ（資金、広報、事務局）からの報告
22日	カトリック高槻教会にて花販売	
26日	家族会会長懇談会	
27日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
4月	行	事
10日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンおよびその贈呈式に参加	
20日	定期総会	<ul style="list-style-type: none"> • 議長に今村相談役を選出 • 1号議案 平成25年度活動報告 • 2号議案 平成25年度収支報告と会計監査報告 • 3号議案 平成26年度役員選出 • 4号議案 平成26年度活動計画 • 5号議案 平成26年度予算計画 • 中村理事長より平成26年度方針 • 勝部施設長より平成26年度事業計画 • 沖本副理事長、松上常務理事、福田よど家族会会長 本城前プレイスBe家族会会長 厚東ぶれいすBe家族会会長からご挨拶 • 山根副施設長新任の挨拶
	カトリック高槻教会にて花販売	
21日	安全対策委員会	
23日	広報グループ、機関紙57号発送協力	
24日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
5月	行	事
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
22日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
23日	ホットトーク	<ul style="list-style-type: none"> • 竹内主任「日中活動の組み立てと再構造化」 • 山根副施設長「個別支援計画について」
	定例会	<ul style="list-style-type: none"> • 施設からの報告（人事、安全対策委員会の結果等） • 26年度保険加入推進について • 各グループ（資金、広報、会計、事務局）からの報告
25日	カトリック高槻教会にて花販売	
28日	家族会会長懇談会	
30日	Cグループ懇親会（施設支援員と保護者の懇親会）	

（植松 記）

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

3月	行	事
19日	第5回役員会	総会準備、新旧役員業務引継ぎ
4月	行	事
9日	第6回役員会	(法人本部) 総会資料作成
21日	定期総会 (生涯学習センター研修室)	法人本部 (中村理事長、沖本副理事長) 平野地域生活支援部長 ジョブサイトひむろ森田施設長 萩の杜 (植松様) ぶれいすBe (本城様、厚東様) ジョブサイトよど (福田様) 会員出席38名 欠席16名 委任状12名で総会成立 第1号議案 平成25年度 事業活動報告 第2号議案 平成25年度 会計報告及び会計監査報告 第3号議案 平成26年度 行事計画審議 第4号議案 平成26年度 予算計画審議 第5号議案 平成26年度 役員及び会計監査・参与選任 以上の議案すべて承認 医療連携の強化、家族会会費の運用、連絡網、家族会名簿、後援会への協力 役員任期について 中村理事長より「平成26年度 法人年度方針」「平成26年度 事業計画策定 に当たって」 ジョブサイトひむろ森田施設長より「平成26年度 事業計画について」 平野地域生活支援部長より「ひむろ移転」「第2なさはら」「医療的ケア」 について 萩の杜、ジョブサイトよど、ぶれいすBe各家族会会長 ご挨拶 総会終了後 懇親会 (桃莉)
23日	広報委員会	機関誌57号発送 (事務局役員)
5月	行	事
25日	北摂杉の子会 評議員会	(豊澤会長出席)
28日	第1回家族会会長 懇談会	(豊澤会長出席)

(宮階 記)



ひむろ家族会 新役員

後列左から
 東(副会長) 干場(副会長) 森田(参与)
 豊澤(会長) 宮階(事務局) 妹尾(会計監査)
 大東(事務局)

前列左から
 唐木(会計) 入江(事務局) 久慈(会計)

その他 山口(事務局)



懇親会

ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

3月	行 事
5日	オアシス役員会にて100円喫茶実施
10日	役員会開催 100円喫茶実施
11日	オアシスサロンにて100円喫茶実施
24日	3月定例会実施(22名出席) 松上施設長兼務常務理事 田端施設長 高橋所長出席 勉強会 講師 松上常務理事「国の動き」 フリートーク 100円喫茶実施
26日	プラザおおさかにて交流会 保護者8名及び施設長兼常務理事 副施設長 副所長 主任 支援員11名参加
30日	北摂杉の子会 評議員会出席
4月	行 事
7日	役員会開催 100円喫茶実施
12日	ぶれいすBe家族会総会に来賓として出席(会長)
14日	オアシス役員会にて100円喫茶実施
16日	コロッケ店にて十三市せんべいを販売
20日	萩の杜家族会総会に来賓として出席(会長)
21日	ジョブジョイントひむろ家族会総会に来賓として出席(会長)

23日	総会開催 25名参加。委任状40名 来賓:中村理事長、沖本副理事長、松上常務理事、植松萩の杜会長、本城前ぶれいすBe家族会会長、厚東ぶれいすBe会長、村井オアシス会長、田端施設長 星明所長 100円喫茶実施 家族交流会をプラザおおさかにて開催
25日	オアシスサロンにて100円喫茶実施

5月	行 事
9日	オアシス役員会にて100円喫茶実施
12日	役員会開催 100円喫茶実施
14日	北摂杉の子会後援会開催に参加・コロッケ店で十三市せんべい販売
17~18日	大阪市西区靱公園バラ祭にてコロッケ販売を応援する
25日	北摂杉の子会評議員会出席
28日	オアシスサロンにて100円喫茶実施

(福田 記)



総会



コロッケ店で十三市せんべい販売



ばら祭にて
コロッケ販売



ぶれいすBe家族会掲示板

3月	行 事
7日	<p>ショートステイ事業との懇談会 (ぶれいすBeショートステイ内) 10時半～12時、出席者：スタッフ5名と看護師及び施設長。家族会会員10名。</p> <p>ショートステイで大切にしていること「日中一時」「短期入所」の定員枠や利用状況など概括的なお話しをうかがった後、会員から寄せられた質問を中心に懇談した。</p> <p>慣れている施設であずかって頂ければ本人も保護者ももっとも安心できるので、もっと利用しやすい状態になるとありがたい、という希望に対して、スタッフから利用者の決定の仕方・人員配置の現状などについて詳しい説明があった。</p> <p>お互いのおかれている状況や思いをよく理解できました。こうした困難な状況を、利用者の満足度をたかめる方向で切り開いていくために、出席者全員で真摯に考える機会をもつことができたのは、大変有意義でした</p>
13日	<p>役員会（ぶれいすBe会議室） (出席者：新旧役員18名施設長も含む)</p> <p>審議報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新役員（候補）顔合わせ ・定期総会議案書（第1号～第5号）の策定 ・総会のための準備作業 ・機関誌発送業務担当は、北川・西山・田中・鶴野さんをお願いする ・掲示板原稿の確認 ・ショートステイ事業との懇談会の感想の取りまとめ ・新入会員5家族(現時点での会員家族数は51名)
20日	<p>コーラスグループ「コールつばさ」 練習会（今城塚公民館）</p>
26日	<p>北摂杉の子会家族会会長懇談会 (出席者：本城・厚東)</p>

4月	行 事
3日	<p>臨時役員会（ぶれいすBe会議室） (出席者：14名、施設長を含む)</p> <p>審議報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度収支および会計監査の承認 ・総会の準備・分担の最終確認 ・ショートステイとの懇談会結果報告のとりまとめ ・総会議案書等の配布。

12日	<p>第5期定期総会（カフェBe：10時～12時） 会員総数53家族、出席36家族、委任状14家族で総会成立。</p> <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度 活動報告 ・平成25年度 収支・会計監査報告 ・平成26年度 役員・会計監査・参与選出 ・平成26年度 事業基本計画案 ・平成26年度 予算計画案 <p>に関わる第1号議案から第5号議案まで、すべて全会一致で承認（議長は伊藤さん）</p> <p>議事終了後来賓の挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村節史理事長より平成26年度 法人年度方針の発表 ・松上利男常務理事より福祉政策の現状と今後についての報告 ・下施設長より平成26年度 事業計画の発表 ・植松芳哲 萩の杜家族会会長、福田啓子 ジョブジョイントよど&ジョブジョイントおおさか家族会会長より祝辞 ・大門副会長より後援会入会へのお誘いがあつた後、閉会 <p>利用者による和太鼓の迫力ある演奏をしばし鑑賞し散会</p>
17日	<p>役員会（第5期）（ぶれいすBe会議室） (出席者：10名、施設長を含む)</p> <p>審議報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会議事録、2人の署名人の確認・署名を経て確定 ・役員間の職務分担の決定 ・家族会専用アドレスの決定： bekazokukai@gmail.com ・参観&ランチの年間スケジュールの決定 ・出産祝い2名 ・「第5期定期総会のお礼と報告」「第5期定期総会議事録」配布 ・「就労継続B」の利用者と保護者を対象に、ぶれいすBe主催で「サービス等利用計画」に関する説明会を実施予定（4月25日）
20日	<p>萩の杜家族会総会（出席者：本城、厚東）</p>
21日	<p>ジョブサイトひむろ家族会総会 (出席者：本城、厚東)</p>
23日	<p>ジョブサイトよど&ジョブサイトおおさか家族会総会（出席者：本城、厚東）</p>
24日	<p>コーラスグループ「コールつばさ」 練習会（今城塚公民館）</p>

5月	行 事
8日	役員会（ぶれいすBe会議室）出席者：10名、施設長を含む 審議報告事項 ・参観&ランチ、参加申し込み書の集計・整理、第一回目の案内書作成配布 ・勉強会の大枠決定（テーマ：サービス等利用計画、講師：あんだんて職員） →案内文書は持ち回りで決定し5月26日付けで配布 ・見学会（候補施設、細部を詰める役員の人選等） ・歓送迎会（日程、場所等の決定） ・第四期役員会のメンバーの川口寿満様、ご逝去に伴う弔意

14日	北摂杉の子会後援会役員会（出席者：厚東）
19日	新旧役員歓送迎会（高槻：からさき） 今年は辞任する役員7名、就任する役員5名、残留する役員7名の全員、下施設長・松上常務理事も参加され、総数21名の大盛会。 創設期からのメンバーで今期退任された、本城、辰巳、和田の三氏の長年にわたるご苦勞に対して謝意を表明した
22日	コーラスグループ「コールつばさ」練習会（今城塚公民館）
25日	北摂杉の子会評議員会（出席者：厚東）
28日	4家族会会長懇談会（出席者：厚東）

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス掲示板

3月	行 事
5日	オアシス役員会
11日	オアシスサロン
27日	親子交流会 飾り巻き体験
30日	北摂杉の子会評議員会 会長出席

23日	ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会総会 会長出席
25日	オアシスサロン

4月	行 事
2日	自閉症啓発デイ 副会長、相談役出席
14日	オアシス役員会

5月	行 事
9日	オアシス役員会
23日	オアシス保護者による実践報告会
28日	オアシスサロン
25日	北摂杉の子会評議員会 会長出席

（村井 記）

北摂杉の子会 後援会掲示板

本会の活動に対し、萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ぶれいすBeの家族会を含む多くの方々のご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

<近況報告>

- 3月 個人会員：535名、団体会員：22団体
合計：557名／団体 寄付：1件
- 4月 個人会員：490名、団体会員：22団体
合計：512名／団体 寄付：1件（退会者あり）
- 5月 個人会員：495名、団体会員：22団体
合計：517名／団体 寄付：7件

<行 事>

- ・2014年（平成26年）度の定例役員会を開催しました（議事録抜粋）
期 日）2014年5月14日（水）
参加者）役員8名中7名が出席（委任状1名を含む）、監査役（1名）及び相談役（5名）は全員出席

1. 2013年度の活動

- 1) 会員数
個人会員：535名、団体会員：22団体、
合 計：557名／団体
- 2) 後援会費及び寄付
後援会費：121万円、寄付：43万円、
合 計：164万円
- 3) 経緯
・法人への寄付
2013年5月に180万円（法人の「地域に生きる」

のロゴを付けたTシャツ、エプロン、のぼりの作成費用に充当)

- ・セキスイハイム住宅紹介制度は実績なし
- ・定例役員会（総会：2013年5月）に加えて臨時役員会を3回開催し（2013年8月、2013年11月、2014年2月）、資金集めの方法などを話し合った
- ・法人各施設、事業所の取引業者様に後援会への入会をお願いした

2. 2013年度の収支と会計監査報告

- 1) 収入
前期繰越金：1,854,521円、寄付金：433,711円、
後援会費：1,214,000円、受取利息：131円、
収入合計：3,502,363円
（今年度の収入：1,647,842円）
- 2) 支出
事務費：6,243円、通信費：5,800円、
雑 費：20,300円、法人への寄付：1,800,000円、
支出合計：1,832,347円
- 3) 次期繰越金
1,670,016円（2014年3月31日現在）
監査役が上記の会計報告について適正に運用されていることを確認した

3. 2014年度の活動計画

- 1) 法人への寄付
167万円を寄付する（2014年5月に実施済み）。
用途について法人から説明があり、異議なく了承された：萩の杜の防災用品の整備に充当する
- 2) 後援会員の整理と資金計画

- 退会希望者などがあつたため、個人及び団体会員
の整理を行った
今年度開始時の会員数は、個人会員：477、
団体会員：21、合計：498名／団体
 - 資金計画→後援会費、寄付、その他で約163万円
の収入を目標にする
- 3) セキスイハイム住宅紹介制度
今年度も継続する（住宅を建てる際にこの制度を
利用すると、成約者：建物本体価格の3%割引、
後援会に50万円、紹介者に10万円が支払われます
：連絡先は後援会事務局）

<その他のご報告>

2014年度以降の後援会役員は、次のとおりです

- 会 長：棚山薫晴
幹 事：植松芳哲、小林夏子、豊澤 進、福田啓子、
厚東洋輔、松岡洋市
会 計：新田順子
(以上、役員)
監 査：永田啓子
相談役：今村一二三、中村節史、沖本卓郎、松上利男、
本田英世
事務局：佐々木寛昭
(2014年4月1日付で幹事の本城征治郎氏が
厚東洋輔氏に交代)

(棚山 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して
下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金
と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。
お振込みは右記口座まで。
皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、
寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史
口座番号：5085555

□法人へのご寄附に感謝いたします。(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

小川敏夫 真野明美 久保いづみ 河端良一 堤 裕典 棚山薫晴 中村節史 福田啓子 真野利之 村井尚子
山崎幸子 佐々田 譲 土田周二 下田節夫 中田友子 曾田知之 杵村光芳 近藤 勝 竹内 東洋秀 伊藤雅子
山口 敬一 カトリック高槻教会 株式会社クリエイティブ・プランニング オーラルヘルスケアサービス
ボランティアグループ かたつむり 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス

□後援会入会と会費納入(平成26年1月23日～平成26年5月26日)

東 敬司 安部匠真 安部晶巳 安部勢津子 安部美和 安部文博 有川輝久 有川光洋 有川航平 有川智美
有川由子 有川洋太郎 池田秀幸 池田美保子 池田洋子 石前浩之 池田万智子 井田 進 伊東洋一 伊藤 茂
伊藤芳子 稲田聖子 井上惇子 井上陽子 伊福久子 岩井光男 岩成由佳子 榎本貴夫 榎本滋子 遠藤一太
遠藤仁子 大上直子 大久保尚武 大谷千由子 沖田正治 沖本卓郎 奥 昌子 梶谷みち枝 柏原紀男 柏原孝紀
柏原智恵子 片岡厚子 桂 吉弥 加藤 浩 金谷 健 金谷千鶴子 金子京子 柄須賀咲智子 川口富貴子
川崎舞子 川田紀久夫 川村 巧 川村初子 北爪隆子 木下 潤 木下直子 具志堅 進 具志堅郁子 倉本 周
黒澤和子 強田純子 厚東洋輔 厚東志保美 小林夏子 小林伸次 小林真理子 小林芳彦 小林和美 西郷和義
財津博文 佐々木サツキ 佐藤康子 塩野高志 志賀亞之 志村敦子 調 佳枝 新川 彰 下川八重子 新保正秋
鈴木和美 関 喜子 関 正弘 関 良子 惣田一枝 棚山 妙 棚山薫晴 高橋八重子 高原正義
ダイキョウ総合観光株式会社 代表取締役 岩佐喜久 高宮郁子 田口恵美子 田口恒子 田口勝重 竹内知子 田中博子
田村和子 段野恵美 出口幸平 寺村善則 寺村有里子 篤田晴子 徳本晴美 登間佐孝男 富田カズミ 豊澤 進
永田啓子 永田健二 中田 義治 中西邦夫 中村昭代 中村忠雄 縄 富志盛 西岡三九子 西坂徹雄 西田源太郎
西原清二 新田利秀 野口里子 野口良三 橋長寿子 橋本紀子 八里さだ 濱田誠治 林 堅一 平井雅子
平野千鶴子 平野武明 平林征男 福田江里子 藤井弘子 藤下生美子 藤田晴美 古門貞利 本射三重子 本城 翼
本城三四子 本城征治郎 本田成美 本田千秋 増田 博 松岡茂雄 松岡由美子 松岡洋市 松岡恒治 松原茂樹
真鍋宣子 真野利之 丸山繁一 水谷英明 南 浩聡 南 俊一郎 南 昌子 南 直美 南 雄太 三宅紀子
三宅陽一 宮武 亮 村井尚子 森 泰雄 森谷薫美 森谷弘雅 森谷奈津美 梁 恵子 山尾 崇 山尾郁保
山尾壯志 山尾朝子 山下 学 結城越代 吉川輝夫 吉川弘子 吉田敏朗 西村晴夫 尾木 豊
社会福祉法人なみはや福祉会 中津保育園(園長 中村清子) 平原晟巨 林 智恵
キンキ寝具株式会社 自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス 下江皮膚科クリニック 下江文子
羽根田司法書士事務所 自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ 匿名様(2名)

□後援会へのご寄付(平成26年3月26日～平成26年5月14日)

棚山薫晴 中村千明 中村央樹 笹井美希 新川 淳 志賀亞之 大久保尚武 宮本東雨 匿名様

□家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

本田英世 植松芳哲 田口恵美子 匿名様

□物品のご提供に感謝いたします。(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

米奥 松本 滝本 藤本寿子 福原きよ子 竹中陽子 児島光子

(敬称略 順不同)

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **研修相談支援室・PASSO**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] o-center@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきプランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 中村 節史
発行所 北摂杉の子会
住所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2014年7月10日
定価100円